

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

地域密着の放送局として、テレビ・ラジオを通じ文化発展、公共福祉増進、産業経済繁栄に貢献する。

② 中長期の経営戦略

1. テレビ事業強化

圧倒的に強い報道を掲げ、夕方ニュース番組を中心に正確情報を迅速発信。自社制作バラエティで地域密着テーマに地域魅力を発掘し視聴率獲得を推進。

3. 財務戦略最適化

既存設備延伸と新規設備厳選によるスマート投資で効率最大化。本社敷地再開発事業で安定収入確保し経営基盤強化と地域経済活性化を推進。

2. ラジオ事業分社化

令和9年4月1日をもってラジオ事業を分社化。令和8年4月1日に100%出資準備会社「株式会社MROラジオ」を設立し吸収分割方式で移行。

4. 安定経営基盤構築

少子高齢化・人口減少環境下、地域の期待に応え発展に貢献するため安定経営を大前提とする。

③ 対処すべき課題

① 放送業界の急速な環境変化

- ・コネクテッドTV普及と配信サービス定着による視聴スタイルの多様化対応
- ・信頼できる情報源としてのローカル放送局の存在意義強化
- ・不確かな情報拡散への対抗と正確情報発信の責務

② 事業効率化と新ビジネス創出

- ・事業プロセスにおける徹底した効率化と最適化推進
- ・ラジオ事業分社化に向けた円滑な新会社スタート実現
- ・令和9年開局75周年を視野に入れた持続可能性確保

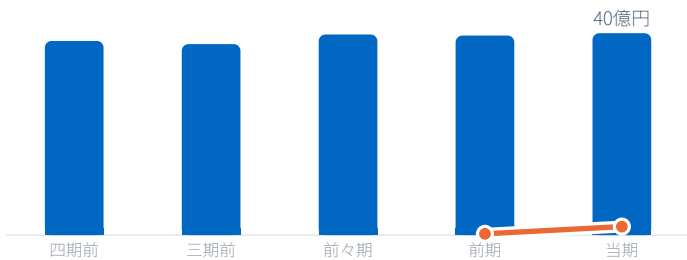
③ 経営基盤の長期的安定確保

- ・国内市場伸び期待難の中での収益確保と財務体質強化
- ・本社敷地再開発による安定収入確保と地域経済活性化
- ・適切な資産管理と投資効率最大化の両立

面接で使えるポイント

- ・令和9年のラジオ事業分社化と開局75周年は北陸放送の歴史的転換点。次なる時代への挑戦を支える存在になる姿勢が重要。
- ・圧倒的に強い報道と地域密着をテーマとした自社制作番組で、不確かな情報拡散の時代における信頼できる情報源の役割を果たす企業…
- ・本社敷地再開発事業で持続可能な放送局の経営基盤構築に取り組み、地域経済の活性化に貢献する地域密着局の実現を目指す企業。

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
40億円営業利益率
4.2%財務健康度
37点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 32.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

